



救い主イエスの活動は荒野ではじまった。その人は神の一人子である確信を抱き、すべての人々を差別なく愛し、求められるならばあらゆる心身の病いを癒し、人々を立ち上げさせ新しい命をさすけた。

また、「わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる」(ヨハネによる福音書10章11節)とも言われた。その人は最期の日まで自分の命を惜しむことなく、この世の誤解・誘惑・権力・悪意・嫉妬の攻撃を受けることがあっても耐え抜いたのである。その人本来の使命は闘うことではなく、真の平和を地上にもたらすことにあったからである。

新年を迎え、救い主イエスを信する者の一人としての私の役割は何であらうかと考える。その人にならば、戦うことに明け暮れるのではなく、神への信頼に支えられ、この世にある限り、神が私どもを愛して下さることを伝え続け、希望を失うことなく、人々に仕えることを喜び、生きがいとする生活を追い求めてゆくことはなかったのかと。

奥田道子(東京YWCA会員)

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでも、わたしのもとにきなさい。休ませてあげよう」。(マタイによる福音書11章28節)



Y's Wonderful Women賞を受賞された方々



交流会のテーマは「We♡ASIA〜アジアは興味や?〜」



分科会



日曜礼拝

在日本韓国YMCAの方たちによるチャンゴやカヤグムの演奏が披露された



交流会を企画した日韓ユースカンファレンス実行委員会メンバー

北京+15NGO会議に参加して



2010年は、第4回世界女性会議(北京)から数えて15年目にあたる。3月には、ニューヨークの国連本部で第54回国連女性の地位委員会(CSW)が開催され、北京で採択された北京宣言や行動綱

領の進捗状況の評価が行われる。

これに先立ち、昨年、各地域の成果と課題を協議するNGO会議が各地で開催され、アジア地域では、フィリピンのケソン市で10月に「北京+15に関するアジア・太平洋NGO会議」が開催された。会議には、アジア地域内の多くの国から約700名の女性たちが集まった。

会議では、基調講演のほか、30以上の分科会が開かれた。参加した分科会で印象的だったのは、Lis Internationalが行っている、「Women Making Airwaves for Peace」という取り組みであった。これは、女性に関する情報や問題をコミュニティラジオを通して伝え、平和な社会を実現しようとするもので、さまざまな国から集まった若い女性たちが中心となり報告していた。若者の取り組みとして、もう一つ印象的だったのは、会議場の近くのカフェで夜に行われていた「Womb Rock」というライブである。これは、フィリピンの家族計画協会が、リプロダクティブ・ヘルスに関する法律の成立に向けての啓発活動兼資金作りの一貫として行っていたイベントであった。人権問題を語る時、何かと堅苦しい雰囲気になりがちだが、ラジオや音楽という媒体を通して、若い女性たちが、同世代の若者の心に響くかたちで、社会問題に取り組んでいる姿勢を目の当たりにし、よい刺激となった。

その他、この会議中、フィリピン、台湾、フィジーのYWCAから来ていた参加者とも出会った＝写真。短い時間であったが、前回の世界YWCA総会で、「女性差別撤廃条約」を重視し、その履行を促進するための活動を強化することを求める決議が採択されたにもかかわらず、この場に、YWCAのメンバーが少ないのは残念だ、「北京+15」を機に、各国Yで取り組みを強化することはできないか、と意見交換を行った。

「『北京+15』って何?」、「世界Yの決議と、どう関係があるの?」と思った皆さん、これを機会に、皆さんのYで、まずは知ることから始めてみませんか?

京都YWCA 福岡由里子

その後、「第30総会期の全国運動を推進するために」と題して侯野尚子副会長から発題があり、ビジョン2015を世界Yのビジョンに繋げながら活動を力強く展開すること、一人ひとりが主体となって組織を強化するという2つの課題、また、現在の日本Y会員数や財政状況が話された。発題途中、名古屋Yユース会員から「Yに関わって生きる意味を取り戻した」との体験談が報告された。

対1 棄権1、第6号議案「第30総会期2010年度収支予算概要」(賛成110 反対0 棄権0)がそれぞれ決議され、第7号議案「公益法人新法への対応」(賛成86 反対19 棄権6)が修正の上、決議された。

議事Ⅱ終了後、大先輩のお働きに感謝するY's Word art「World」の25名のお名前の発表、石井会長から韓国Yゲストへの感謝の言葉、両Y会長・副会長の信頼関係の証の熱い擁抱が行われた。

最後に侯野尚子副会長による閉会で3日間にあつたすべてのプログラムが終了した。

日曜礼拝献金15万4306円
フィリピン・サモア・アメリカン・サモア・トンガ・インドネシアYWCAを通して台風・地震・津波等の被災者に送られる第29総会期書記役員 荒木紀子

続いて「非核による平和」「平和・憲法」「女性への暴力の克服」「市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く」の4つの議題について、「現在の課題・問題」「今後に向けて」を軸に、発題が行われた。

午後はその発題を受けて、イシュー・組織の活性化に関する8つの分科会が開かれ、第30総会期の全国運動の活動計画案について討議した。

夜は、分科会から出された活動計画案についての質疑応答がなされた。

最後に侯野尚子副会長による閉会で3日間にあつたすべてのプログラムが終了した。

日曜礼拝献金15万4306円
フィリピン・サモア・アメリカン・サモア・トンガ・インドネシアYWCAを通して台風・地震・津波等の被災者に送られる第29総会期書記役員 荒木紀子

第30総会期運営委員

運営委員 荒木 紀子(福島Y)
今地裕美子(大阪Y)
大野 綾子(東京Y)
神谷理恵子(名古屋Y)
木村真理子(横浜Y)
手島 千景(東京Y)
寺島 順子(甲府Y)
樋口 清香(福岡Y)
福岡由里子(京都Y)
藤谷佐斗子(東京Y)
万年 禮(神戸Y)
横山由美子(新潟Y)

(下線:青年)

会長 侯野 尚子(東京Y)
副会長 実生 律子(東京Y)
吉村 千恵(京都Y)

